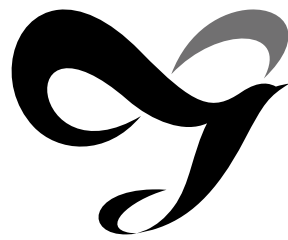


令和4（2022）年度

# 学校推薦型選抜Ⅰ 学生募集要項

（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜）



鳥取大学

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、今後、選抜方法や選抜期日等を変更する場合があります。その場合、対応をホームページでお知らせしますので最新の情報は必ず確認してください。

## 新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止の対応について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、受験に当たっては、以下のことに留意してください。

- (1) 日頃から感染防止について心がけるとともに、体温測定を行い、体調の変化の有無を確認してください。なお、試験日の7日前から試験当日までは、次ページの「健康記録表」により、朝・夕に体温測定を行い、体調を把握してください。(試験当日に「健康記録表」を確認する場合がありますので、必ず持参してください。)

(参考) 受験生のみなさんへ ～新型コロナウイルス感染防止のための注意事項～ (文部科学省・厚生労働省作成)

[https://www.mext.go.jp/content/20201218-mext\\_daigakuc02-000005144\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20201218-mext_daigakuc02-000005144_1.pdf)



- (2) 試験日の2週間程度前から発熱、咳等の症状がある受験者はあらかじめ医療機関での受診を行ってください。
- (3) 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者や保健所等から新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者等に該当すると指定され、試験前日までに経過観察期間が終わらない者(※1)は受験できません。  
※1 海外から入国後の待機期間を含む
- (4) 試験当日、発熱や咳等の症状のある受験者は、その旨試験監督者等に申し出てください。なお、試験場内において咳を繰り返すなどの症状がみられた場合には、他の受験者への感染の恐れがあるため、別室での受験又は受験を取り止めていただくことがあります。
- (5) 試験場内では昼食時を除き、必ずマスクを着用してください。なお、試験時間中に、受験者本人を確認する場合など、監督者からマスクを一旦取り外すよう指示することがありますので、その際は、指示に従ってください。(何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、事前に鳥取大学入試課に連絡してください。)
- (6) 試験当日、試験室等の換気のため、窓の開放等を行う場合がありますので、当日の気温等を確認の上、必要に応じて上着など暖かい服装を持参してください。
- (7) 試験日程上昼食をとる必要がある場合は、昼食は持参し、自席など監督者等から指示された場所で食事をしてください。休憩時間や昼食等において他者との接触、会話は極力避けてください。
- (8) 試験当日、保護者待合室は設けません。ご理解とご協力をお願いします。
- (9) 他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けるようにしてください。
- (10) 日頃から、「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけてください。
- (11) 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、「新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA)」のダウンロードにご協力をお願いします。
- (12) 試験終了後の数日間は継続して自主検温を行ってください。また、試験終了後数日以内に発熱・咳等の症状があり、検査の結果、新型コロナウイルス感染症に罹患したことが判明した場合は、至急、鳥取大学入試課まで連絡してください。

※上記の対応について、今後の新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、変更することがあります。その場合、対応をホームページでお知らせしますので最新の情報は必ず確認してください。



# 目 次

1. 入学者受入れの方針	1
2. 実施学部，学科等及び募集人員	7
3. 出 願 要 件	7
4. 出 願 手 続	10
5. 受験票のダウンロード・印刷	23
6. 本学が個別に入学資格審査を行う場合の注意事項	24
7. 障がい等のある入学志願者の事前相談について	24
8. 選 抜 方 法	25
9. 試験日時・試験場	25
10. 受験上の注意事項	26
11. 合 否 判 定 方 法	28
12. 合 格 発 表	28
13. 入 学 手 続	29
14. 入 学 前 教 育	30
15. 学生生活案内	30
16. そ の 他	31
ノート型パソコンの必携について	32
入学に必要な学部別納入経費（予定）	33
問合せ先	34

出 願 期 間	令和3年11月 5日(金)～9日(火)
試 験 日	令和3年11月 20日(土)
合 格 発 表	令和3年12月 2日(木)
入学手続期限	令和3年12月 9日(木)

## <新型コロナウイルス感染症の感染拡大並びに不測の事態が発生した場合の対応について>

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況並びに大規模災害等の不測の事態により入学試験の予定通りの実施が困難な場合，又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は，試験時間の短縮や試験日時，選抜方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合，対応を以下の本学ホームページでお知らせしますので，出願及び受験の直前には特に注意してください。

鳥取大学入学試験情報ホームページ：<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>

ス マ ホ ・ 携 帯 電 話 サ イ ト：<https://daigakuje.jp/toridai/>



(スマホ・携帯電話サイト)

## 1. 入学者受入れの方針

鳥取大学は、本学の基本理念である「知と実践の融合」を志向し、知識を深め理論を身につけるとともに、実践を通して地域から国際社会まで広く貢献したいという意欲を持ち、これに必要な能力を高めることを志す次のような人を広く受け入れます。

1. 文化、社会、自然に関し、高等学校等において履修する科目の基本的な知識・技能を有する人
2. 大学で学ぶにあたり、基礎的な思考力、判断力、表現力を修得し、その向上を志す人
3. 自己の能力を継続的に向上させ、課題や問題を探究しようと志す人
4. 健全な倫理観を身につけ、主体的に他者と協働して社会貢献を志す人

各学部・学科等では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、様々な能力と関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜、社会人を対象とした選抜などにより多面的かつ総合的な評価による入試の機会を設けます。

## 【学部・学科等の入学者受入れの方針】

### 地域学部

地域学部では、地域とそこに生きる人々との関わりに関心を持ち、これを科学的に探究し、地域の持続的発展に貢献したいという意欲をもった、次のような人を求めます。

1. 地域学を学ぶにあたり、高等学校等において身につける、文化、社会、自然に関する基礎的な知識・技能を有する人
2. 地域学を学ぶにあたり、基礎的な思考力、判断力、表現力を修得し、その向上を志す人
3. 自己の能力を継続的に向上させ、地域の諸課題を探究しようと志す人
4. 健全な倫理観を身につけ、主体的に他者と協働して地域社会の持続的な発展への貢献を志す人

地域学部では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力、表現力、主体性・協働性、創造性など様々な能力と関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜、社会人を対象とした選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

### ■ 地域学科地域創造コース

地域創造コースでは、多面的な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人や、地域のさまざまな資源を有効に活用し、発展させるための提言ができる人を育てることを目指しています。そこで本コースは、次のような人を求めています。

1. 地域の多様な課題に興味をもち、それを解決し魅力的な地域を創造したいと望んでいる人
2. 多面的な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人
3. 地域の様々な資源を有効に活用し、地域を発展させるための提言や取り組みができるようになりたい人

[選抜方法と求める能力の関連]

選抜方法	求める能力					配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	創造性		
推薦書				○		50	志望理由書・調査書・推薦書は個別の評価を行わず、それらの記述内容を踏まえて行う面接とあわせて評価する。
志望理由書	○	○	○	○	○		
調査書	○			○			
面接	○	○	○	○	○		
小論文	○	○	○	○	○	50	
合計						100	

## 工学部

工学部は、人類の福祉と社会の発展に貢献するため、主として工学の分野における学術研究と教育を行い、社会が必要とする技術を開発し、それを駆使しうる人材を養成することを目的としています。この目的に共感して学ぶことのできる次のような人を求めます。

1. 地球の環境、人類の幸福・福祉に関心を持ち、社会的責任についての考えや倫理観を身につけたいと考えている人
2. 基礎知識や専門知識を学修し、学んだことを新技術開発や問題解決に応用して社会に貢献したいと考えている人
3. 目的を持って自ら学ぶ努力のできる人
4. 他者の意見を聞き、自らの意見を発信するための能力や技能を身につけたいと考えている人
5. 地域社会への貢献や国際的な活躍ができる技術力を身につけ、それを活用する意欲のある人

工学部では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性など様々な能力と関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

### ■ 機械物理系学科

機械物理系学科では、大学及び工学部の入学者受入れの方針に基づき、次のような人を求めています。

1. 自然現象や様々な事象に強い興味を持ち、物事を根本的なところから思考できる人
2. 機械、航空宇宙、ロボティクス、物理工学を学ぶのに必要な基礎学力、特に数学、物理についての学力、及び国語、英語などの語学能力を有し、学習意欲を持っている人
3. 自立・自律心の向上を目指す人
4. 自然環境と人間社会との共存に関心を持ち、柔軟な発想・洞察をもって課題の発見に努力のできる人
5. 課題の解決に向けて、倫理観と熱意を持って持続的に取り組むことのできる人
6. 他者と協働し、倫理観を持って社会の変化に対応した知識、能力、技能を身につけたいと考えている人

#### [選抜方法と求める能力の関連]

選抜方法	求める能力			配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働性		
調査書	○		○	100	面接は、志望理由や高校での取組みなどを確認する。また、数学・物理等の基礎学力に関する試問も含む。推薦書は得点化せず、面接の際の参考にする。
口頭試問	○	○	○	80	
面接	○	○	○	20	
推薦書	○	○	○		
合計				200	

## ■ 電気情報系学科

電気情報系学科では、大学及び工学部の入学者受入れの方針に基づき、次のような人を求めています。

1. 数学・理科・英語などの工学に必要な基礎学力を有している人
2. 工学系の学問分野，特に電気電子情報分野（エネルギー，材料，情報，制御，システム等）に興味を持つ人
3. 工学が社会や自然に及ぼす影響に関心を持つ人
4. 論理的記述力，口頭発表力，討議などのコミュニケーション能力を高め，将来，国際社会で役立つ技術者，研究者となる意欲を持つ人
5. 社会の変化に対応して，倫理観を持って自ら学び続ける意欲を持つ人

[選抜方法と求める能力の関連]

選抜方法	求める能力			配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働性		
調査書	○		○	50	高校での学習成績の状況等を評価する。
口頭試問	○	○	○	80	面接には，数学・物理等の基礎学力（教科書レベル）に関する試問も含む。総じてコミュニケーション能力を評価しつつ，基礎学力についても評価する。推薦書は得点化せず，面接の際の参考にする。
面接	○	○	○	20	
推薦書	○	○	○		
合計				150	

## ■ 社会システム土木系学科

社会システム土木系学科では、大学及び工学部の入学者受入れの方針に基づき、次のような人を求めています。

1. 数学・理科・英語などの基礎学力を有している人
2. 広く物事に関心を持ち，幅広く学問を学ぶ積極的な心構えがある人
3. 人類の安全と平和，ならびに健康と福祉について考え得る技術者倫理を持つことができる人
4. 人類と自然との調和を図り，持続的な社会を創造する力を身につける意志がある人
5. 計画・建設・管理技術に関する幅広い知識と技能を身につける意欲がある人
6. 他者と協働し，社会の変化に対応した知識，能力，技能を身につけたいと考えている人

[選抜方法と求める能力の関連]

選抜方法	求める能力			配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働性		
調査書	○		○	100	高校での学習成績の状況等を評価する。
口頭試問	○	○	○	200	面接は，英語・国語・物理・数学等の基礎学力に関する試問を含む。推薦書は得点化せず，面接の際の参考にする。
面接	○	○	○	200	
推薦書	○	○	○		
合計				500	



## 農学部

農学部では、人類の持続的生存と福祉への貢献を目指す次のような人を求めています。

1. 文化，社会，自然に関する基本的な知識・技能を有する人
2. 大学で学ぶにあたり，基礎的な思考力，判断力，表現力を修得している人
3. 自己の能力を継続的に向上させようとする意欲がある人
4. 倫理観及び責任感をもち他者と協働して社会に貢献したいと考えている人
5. 食料，環境，いのちについて強い関心を持ち，自主的，自発的に学ぶ意欲を持つ人
6. 国内外で農学の発展に積極的に貢献したいと考えている人

### ■ 生命環境農学科

生命環境農学科では、農学部の入学者受入れの方針に基づき、傾聴力を有し、視野を広げ、創造力を養う意欲をもった、次のような人を求めています。

1. 食料，環境，生命に関心を持ち，高等学校等で履修する科目の基本的な知識を有する人
2. 基礎的な科学的思考力と判断力を持ち，その多面的な向上と深化を志す人
3. 自己の能力を継続的に向上させ，乾燥地の農業や環境問題，地域資源の保全や活用，生物資源の発掘や育種，生命現象の解明や応用について主体的に探究する意欲を持つ人
4. 健全な倫理観と使命感を持ち，自身の考えを表現する力，力を合わせて活動する力を備える人

生命環境農学科では、これらの人を受け入れるため、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力、表現力、意欲などと関連付けて明示し、大学入学共通テストを利用する一般選抜のほか、総合型選抜、学校推薦型選抜、社会人を対象とした選抜などを活用して多面的かつ総合的な評価による入学者の選考を行います。

[選抜方法と求める能力の関連]

・募集方法（A）の①

選抜方法	求める能力						配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性	協働性	農学の課題 解決に対する 意欲		
調査書	◎			○	○		30	高校での学習成績の状況等を評価する。
推薦書	○	○		○	○	○	70	面接は、英語等の基礎知識を問う試問も含む。
志願理由書・ 面接	○	○	○	○	○	◎		
合計							100	

・募集方法（A）の②

選抜方法	求める能力						配点	備考（活用方法など）
	知識技能	思考力判断力	表現力	主体性	協働性	農学の課題解決に対する意欲		
資格						◎	50	資格は、「農学の課題解決に対する意欲」を評価する。なお、資格については、P.13③出願書類等を参照すること。
調査書	◎			○	○			高校での学習成績の状況等を評価する。
推薦書	○	○		○	○	○	50	面接は、英語等の基礎知識を問う試問も含む。
志願理由書・面接	○	○	○	○	○	◎		
合計							100	

・募集方法（B）

選抜方法	求める能力						配点	備考（活用方法など）
	知識技能	思考力判断力	表現力	主体性	協働性	農学の課題解決に対する意欲		
調査書	◎			○	○		30	高校での学習成績の状況等を評価する。
推薦書	○	○		○	○	○	70	面接は、英語等の基礎知識を問う試問も含む。
志願理由書・面接	○	○	○	○	○	◎		
合計							100	

・募集方法（C）

選抜方法	求める能力							配点	備考（活用方法など）
	知識技能	思考力判断力	表現力	主体性	協働性	農学の課題解決に対する意欲	英語力		
英語資格							◎	65	英語民間試験を重視して評価する。
調査書	○			○	○				高校での学習成績の状況等を評価する。
推薦書	○	○		○	○	○		35	面接は、英語等の基礎知識を問う試問も含む。
志願理由書・面接	○	○	○	○	○	◎			
合計							100		

・募集方法（D）

選抜方法	求める能力							配点	備考（活用方法など）
	知識技能	思考力判断力	表現力	主体性行動力	協働性	農学の課題解決に対する意欲	リーダーシップ		
課外活動実績							◎	50	課外活動実績は「リーダーシップ」を評価する。正課外のスポーツ等の課外活動の状況を重視して評価する。
調査書	○			◎	◎				高校での学習成績の状況等を評価する。
推薦書	○	○		○	○	○		50	面接は、志願理由などを問う。
志願理由書・面接		○	○	○	○	○	○		
合計							100		

※農学部においては、◎は特に重視している項目を示しています。

## 2. 実施学部，学科等及び募集人員

学 部	学 科 等	募 集 人 員
地 域 学 部	地 域 学 科 地 域 創 造 コ ー ス	6 人
	計	6 人
工 学 部	機 械 物 理 系 学 科	4 人
	電 気 情 報 系 学 科	5 人
	社 会 シ ス テ ム 土 木 系 学 科	募集方法(A) 2 人 募集方法(B) 2 人
	計	13 人
農 学 部	生 命 環 境 農 学 科	募集方法(A)の① 7 人 募集方法(A)の② 若干人 募集方法(B) 23 人 募集方法(C) 5 人程度 募集方法(D) 5 人程度
	計	40 人
合 計		59 人

(注)志望は，いずれか一つの学部，学科等に限りませう。

受験者の総合点が合格基準に達していない場合，合格者数が募集人員に満たない場合があります，その場合の欠員は一般選抜の合格者で補充します。

## 3. 出 願 要 件

各学部が示す次の要件に該当し，かつ高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，合格した場合は入学することを確約できる者

学部	学 科 等	出 願 要 件
地 域 学 部	地 域 学 科 地 域 創 造 コ ー ス	<p>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者（令和3年4月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であつて，令和4年3月31日までに満18歳に達する者で，次の各号に該当する者</p> <p>(1)人物，学業成績がともに優れ，地域政策に関心があり，将来，地域づくりにおいてリーダーシップを発揮しようとする意欲がある者</p> <p>(2)高等学校等の学習成績概評がA段階である者</p> <p>【推薦できる者は，1高等学校等につき2人以内とする】</p>
工 学 部	機 械 物 理 系 学 科	<p>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の工業に関する学科又は総合学科の工学分野を令和4年3月卒業見込みの者（令和3年4月以降，学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。），あるいは本学において，個別の入学資格審査により，前段と同等であると認めた者であつて，令和4年3月31日までに満18歳に達する者で，次の各号に該当する者</p> <p>(1)人物，学業成績がともに優れ，機械，航空宇宙，ロボティクス，物理工学の学習に熱意のある者</p> <p>(2)高等学校等の学習成績概評がA段階である者</p>

学部	学 科 等	出 願 要 件
工 学 部	電気情報系学科	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の工業に関する学科又は総合学科の工学分野を令和4年3月卒業見込みの者（令和3年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認められた者であって、令和4年3月31日までに満18歳に達する者で、人物、学業成績がともに優れ、工学（特に電気電子工学あるいは情報工学分野）の学習に熱意のある者
	社会システム 土木系学科	<b>募集方法（A）：専門高校対応型</b> 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の工業に関する学科、総合学科の工学分野又は農業土木に関する学科を令和4年3月卒業見込みの者（令和3年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認められた者であって、令和4年3月31日までに満18歳に達する者で、次の各号に該当する者 (1)人物、学業成績がともに優れ、工学（特に土木工学）の学習に熱意のある者 (2)高等学校等の学習成績概評がA段階である者
		<b>募集方法（B）：普通科高校対応型</b> 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）の普通教育を主とする学科及び総合学科を令和4年3月卒業見込みの者（令和3年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認められた者であって、令和4年3月31日までに満18歳に達する者で、次の各号に該当する者 (1)人物、学業成績がともに優れ、工学（特に土木工学）の学習に熱意のある者 (2)高等学校等の学習成績概評がA段階である者
(注) 理数科、英語科などは、本学部では普通教育を主とする学科とみなします。出願要件に掲げる学科に該当するか不明な場合は、事前に工学部教務係（TEL（0857）31-5186）に照会してください。		
農 学 部	生命環境農学科	下記に規定する高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和3年3月に卒業した者（令和2年4月から令和3年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）及び令和4年3月卒業見込みの者（令和3年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認められた者であって、令和4年3月31日までに満18歳に達する者
		<b>募集方法（A）：専門高校対応型</b> 農業、商業、工業等に関する専門教育（「総合的な学習の時間」を含む。）を主とする学科又は総合学科で、専門教育の修得単位数が、25単位以上の者及び①、②のいずれかに該当する者 <b>①一般タイプ</b> 人物、専門教育に係る成績がともに優れ、食料の生産、生物資源の利活用、食品、農業ビジネス、水資源開発や農地・森林の保全管理などに関係する分野の学習に熱意がある者 <b>②農林業就業志向タイプ</b> (A)の①に出願する者で、卒業後に農林業に就業することを強く希望し、農林業に関する高度な資格（例：日本農業技術検定2級以上、農業簿記検定2級以上、スーパー農林水産業士等）を有している者、又は地方自治体の首長等から卒業後の農林業への就業支援をすることを確約された者

学部	学科等	出 願 要 件						
農  学  部	生命環境農学科	<p><b>募集方法（B）：普通科高校対応型</b>            普通教育を主とする学科又は総合学科（「総合的な学習の時間」を含む専門教育に関する教科・科目の修得単位数が、25 単位未満の学科）の者で人物、普通教育に関する成績がともに優れ、食料の生産や流通、環境保全、生物資源の利活用、食品・創薬などに関係する分野の学習に熱意がある者</p>						
		<p><b>募集方法（C）：グローバル志向重視型</b>            令和 4 年度農学部学校推薦型選抜 I の募集方法（A）又は募集方法（B）に出願する者で、次の各号に該当する者            (1) 様々なフィールドでグローバルに活躍することを目指す者            (2) 以下の英語能力のいずれかを有する者（令和元年 11 月 20 日以降に受験したものととする。）</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">① 実用英語技能検定試験（英検）</td> <td style="text-align: right;">2 級以上</td> </tr> <tr> <td>② TOE I C</td> <td style="text-align: right;">5 0 0 点以上</td> </tr> <tr> <td>③ TOE F L i B T</td> <td style="text-align: right;">6 1 点以上</td> </tr> <tr> <td>④ G T E C 検定版（4 技能）オフィシャルスコアに限る</td> <td style="text-align: right;">1 0 0 0 点以上</td> </tr> </table> <p>※英検（「英検 C S E スコア」が表示されているもの）、TOE I C、TOE F L、G T E C のいずれかの英語能力を判定できる資料を、必ず提出してください。</p>	① 実用英語技能検定試験（英検）	2 級以上	② TOE I C	5 0 0 点以上	③ TOE F L i B T	6 1 点以上
① 実用英語技能検定試験（英検）	2 級以上							
② TOE I C	5 0 0 点以上							
③ TOE F L i B T	6 1 点以上							
④ G T E C 検定版（4 技能）オフィシャルスコアに限る	1 0 0 0 点以上							
		<p><b>募集方法（D）：リーダーシップ重視型又は積極的活動重視型</b>            令和 4 年度農学部学校推薦型選抜 I の募集方法（A）又は募集方法（B）に出願し、高等学校在学中（学年は問わない）に正課外のスポーツ等の課外活動において、中心的な役割を担うなど活躍することで、全国大会、ブロック大会、都道府県大会等において優秀な実績を残すことに顕著に貢献し、今後も意欲的に様々な活動をする意思をもつ者</p> <p>※個人競技又は団体競技等は問いませんが、出願にあたっては以下のことがわかるように顧問教諭等の指導者の所見（様式任意）を提出してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 所属していたクラブの部員数</li> <li>② 所属していた時のクラブの実績</li> <li>③ 所属していたクラブ内での出願者の実績や役割、クラブの実績との関連性</li> <li>④ 出願者の長所・短所</li> <li>⑤ 出願者の将来性</li> </ol>						
		<p>(注) 1. 理数科、英語科などは、本学部では普通教育を主とする学科とみなします。出願要件に掲げる学科に該当するか不明な場合は、事前に農学部教務係(TEL(0857)31-5342)に照会してください。            2. 募集方法(C)と(D)の併願はできません。</p>						

## 4. 出願手続

### (1) 出願期間

インターネット出願登録期間	令和3年11月1日(月)～11月9日(火)
出願書類等提出期間	令和3年11月5日(金)～11月9日(火) (11月8日(月)の消印有効)

### (2) インターネット出願の流れ



出願期間前

出願期間中

出願後

**インターネット出願登録及び検定料の支払いを行っただけでは、出願手続完了にはなりません。  
上記出願期間内に書類等を郵送（必着）する必要があります。**

### (3) 出願方法

出願はインターネット出願のみとします。

入学志願者は、上記出願期間中に本学の「インターネット出願ページ」より、インターネット出願登録と検定料の支払いを済ませ、なおかつP.13③記載の出願書類等を本学に郵送してください。

出願にあたって準備するものや検定料の支払方法等の詳細は、P.12～13①～③を確認してください。

#### 【郵送方法】

1. 市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に、本学の「インターネット出願ページ」からカラー印刷した出願書類等提出用封筒宛名ラベルを貼り付けてください。(郵送先は自動で印字されます。)
2. 上記1. で作成した出願書類等提出用封筒にP.13③記載の出願書類等をすべて封入し、**必ず簡易書留・速達で11月9日(火)までに**郵送してください。  
(これ以降に到着した場合は、11月8日(月)以前の発信局消印があるものに限り受け付けます。  
郵便事情を十分考慮して発送してください。)

(注1) 出願書類等の受領確認は電話でお答えすることはできませんので、日本郵便ホームページ等の追跡サービスで確認してください。

(注2) 出願書類等を持参する場合は、出願期間内の平日9:00から17:00まで、学生部入試課(共通教育棟2階)で受け付けます。

#### 【問い合わせ先等】

○インターネット出願登録の方法、検定料支払方法に関する問い合わせ先  
(株) ディスコ「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター  
TEL:0120-202-079 (24時間365日対応)

○入試に関する問い合わせ先  
鳥取大学学生部入試課  
TEL: (0857) 31-5061 (平日9:00～17:00)

◆インターネット出願ページ <<https://e-apply.jp/e/tottori-u/>>



### ① インターネット出願登録のために事前に準備するもの

パソコン・スマートフォン等の動作環境	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。(スマートフォンによってはご使用になれない場合があります。その場合はパソコンをご使用ください。)
印刷環境	出願書類及び受験票等を印刷するため、A4用紙で印刷することができるカラープリンターが必要です。
メールアドレス及びメールの設定	出願にはメールアドレスが必要です。出願登録時に確認メールを送信します。また、迷惑メール対策としてメールの受信制限を行っている場合は、確認メールが届かないことがありますので、「@e-apply.jp」を受信可能なドメインとして設定してください。
志願者本人の顔写真データ	出願には志願者本人の顔写真データ (jpeg, png, bitmap, gif) が必要です。上半身・無帽・正面向き・無背景・カラーで、提出前3か月以内に撮影した鮮明な写真をご準備ください。ファイルは2MBまでとします。 なお、出願写真として適切でないと判断された場合は、再提出となる場合があります。

詳細は、インターネット出願ページ「事前準備」<<https://e-apply.jp/e/tottori-u/guide/junbi.html>>をご確認ください。

### ② 検定料 (17,000 円) 支払方法等

検定料の支払いは、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM (ペイジー対応)、ネットバンキングのいずれかの方法で行ってください。支払期限はインターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23時59分までです。ただし、インターネット出願登録を完了した日から4日に満たず出願締切日時 (11月9日 (火) 17:00) になる場合は、出願締切日時までとなります。

なお、振込手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。

それぞれの支払方法に関する詳細は、「インターネット出願ページ」をご確認ください。

#### ※検定料の返還について

既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- (1) 検定料を振り込んだが出願しなかった (出願書類を提出しなかった) 場合
- (2) 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合
- (3) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- (4) 本学の検定料返還等特例措置申請者で、検定料返還が許可された場合

上記(1)～(3)に該当する場合は、必ず学生部入試課 (TEL (0857) 31-5061) へ連絡してください。返還方法等の詳細については、文書でお知らせします。



### ③ 出願書類等

調 査 書	文部科学省所定の様式により、出身高等学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。(調査書が2枚以上となる場合、2枚目以降の調査書の右上に志願者氏名を記載するなど、その真正性が確実に確認出来るように一綴の資料としてクリップ留め等(なるべくホッチキスは避けてください。)で提出してください。なお、A3判で提出される場合は、A3用紙の左右に印刷(両面可)してください。)
推 薦 書	出身高等学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。 (本学のホームページ(鳥取大学入学試験情報ホームページ>[学部入試]学生募集要項>出願書類(様式)のダウンロード)からWordファイルをダウンロードし、入力(記入)してください。A3サイズで印刷してください。)
志望理由書 【地域学部】	本学のホームページ(鳥取大学入学試験情報ホームページ>[学部入試]学生募集要項>出願書類(様式)のダウンロード)から所定の様式を、A4サイズで印刷の上、志願者本人の直筆により記入してください。 (地域学科地域創造コースを志願する者のみ提出してください。)
志望理由書 【農学部】	本学のホームページ(鳥取大学入学試験情報ホームページ>[学部入試]学生募集要項>出願書類(様式)のダウンロード)から所定の様式を、A4サイズで印刷の上、志願者本人の直筆により記入してください。 (生命環境農学科を志願する者のみ提出してください。)
農林業に関する資格又は地方自治体の首長等からの証明書(原本) 【農学部】	農林業に関する資格(例:日本農業技術検定2級以上、農業簿記検定2級以上、スーパー農林水産業士等)を有する者、又は地方自治体の首長等から卒業後の農林業への就業支援を確約された者は、これらを証明する資料を提出してください(複数可)。確認後、返却します。 (生命環境農学科「募集方法(A)の②」を併願する者のみ必ず提出してください。)
英語能力を判定できる資料(原本) 【農学部】	英検(「英検CSEスコア」が表示されているもの)、TOEIC、TOEFL(iBT)、GTEC検定版(4技能)のいずれかの合格証又はスコア証明書を提出してください(複数可)。確認後、返却します。 (生命環境農学科「募集方法(C)」を併願する者のみ必ず提出してください。)
課外活動実績等を判断できる資料及び指導者の所見 【農学部】	課外活動の種目については、個人競技又は団体競技等の別は問いませんが、以下のことがわかるよう顧問教諭等の指導者の所見(様式任意)を提出してください。 1. 所属していたクラブの部員数 2. 所属していた時のクラブの実績 3. 所属していたクラブ内での出願者の実績や役割、クラブの実績との関連性 4. 出願者の長所・短所 5. 出願者の将来性 (生命環境農学科「募集方法(D)」を併願する者のみ必ず提出してください。)

#### 記入上の注意事項

1. 出願書類等に記入もれ、その他不備のある場合は受理しません。
2. 出願書類等受付後は、原則記載事項の変更は認めませんが、**出願書類等提出後に本人連絡先を変更した場合は直ちに鳥取大学学生部入試課に連絡してください。**
3. 出願書類等の記載内容と相違する事実が発見された場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
4. 出願書類等は、受理後いかなる理由があっても返却しません。

(地域学部・工学部用)

# 推薦書

令和 年 月 日

鳥取大学長 殿

立

高等学校  
中等教育学校  
学 校

所在地  
学校長氏名

職印

記載責任者

下記の者は、貴学の学校推薦型選抜の要件に該当し、特に優秀な生徒であるので、責任をもって推薦いたします。

記

志望学部 ・学科等	学部	学科	(地域学部地域学科志願者のみ記入) コース	
フリガナ				
生徒氏名		出身校学科		
	(男・女)			
推薦理由	<div style="text-align: center; font-size: 4em; opacity: 0.5;">           宛         </div>			

※「記入上の注意事項」を参照してください。

学 業	
人 物	本
(課外活動を含む) 社会活動	

受験番号	(記入不要)
------	--------

## 推薦書記入上の注意事項（地域学部・工学部用）

全項目について記入してください。

### 1. 出身校学科

高等学校設置基準第6条に該当する学科名を記入してください。

### 2. 推薦理由, 学業, 人物, 課外活動については, 抽象的, 概評的に, 単に「まじめである」, 「よく活動している」というようなものではなく, より具体的に, 事実に基づいた事項で詳細に記入してください。

#### (1) 推薦理由

本人の志望理由（入学理由, 本学に入學後学びたいこと, 将来の希望・目標）を確認の上, 「学力の3要素（「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）」の評価を踏まえ, 推薦する理由を記入してください。

#### (2) 学業

① 授業中の活動状況, 勉学の自発性, 計画性, 持続性, あるいは理解力, 創造的思考能力等につき, なるべく具体的事実をあげて所見を記入してください。

② 得意な科目, 不得意な科目, 好きな科目, 嫌いな科目等及びそれに対する取り組みについても具体的に記入してください。

#### (3) 人物

調査書の「指導上参考となる諸事項」欄の内容を踏まえ, 人物, 性格等について, 本人の特性をよく表現するような具体的事実を記入してください。

#### (4) 課外活動

調査書の「指導上参考となる諸事項」欄の内容を踏まえ, 本人がどのような姿勢で取り組んだのか, 具体的事実を記入してください。

### 3. その他

提出の際は, A3サイズ（片面）に印刷してください。

推薦書記入の際, 様式の改変は認めません。なお, Wordファイルに直接入力する場合, フォントサイズは, 10pt以上で入力してください。

(農学部用)

# 推薦書

令和 年 月 日

鳥取大学長 殿

立

高等学校  
中等教育学校  
学 校

所在地  
学校長氏名

職印

記載責任者

下記の者は、貴学の学校推薦型選抜の要件に該当し、特に優秀な生徒であるので、責任をもって推薦いたします。

記

出身校学科	フリガナ	生徒氏名	(男・女)
学業			

※「記入上の注意事項」を参照してください。

人 物	
適 性	

受験番号	(記入不要)
------	--------

## 推薦書記入上の注意事項（農学部用）

全項目について記入してください。

なお、記入の際は、下記注意事項に留意し、単に「まじめである」、「よく活動する」というような概評ではなく、なるべく具体的事実をあげて記入してください。

### 1. 出身校学科

高等学校設置基準第6条に該当する学科名を記入してください。

### 2. 学業

(1) 授業中の活動状況、勉学の自発性、計画性、持続性、あるいは理解力、創造的思考能力等につき、なるべく具体的事実をあげて所見を記入してください。

(2) 推薦の根拠となった学業上の特別な事由を記入してください。

(3) 得意な科目、不得意な科目、好きな科目、嫌いな科目等及びそれに対する取り組みについても具体的に記入してください。

### 3. 人物

調査書の「指導上参考となる諸事項」欄と重複しないよう配慮し、人物、性格等について本人の特性をよく表現するような具体的事実を記入してください。

なお、取得資格・能力テストのスコア等があれば記入してください。

### 4. 適性

特に本人の志望学科に対する適性及び意欲等を記入してください。

### 5. その他

提出の際は、A3サイズ（片面）に印刷してください。

推薦書記入の際、様式の改変は認めません。なお、Wordファイルに直接入力する場合、フォントサイズは、10pt以上で入力してください。

# 志望理由書

フリガナ	
氏名	

## 記入要領

1. 本人が直筆で記入してください。
2. 記入にあたっては、黒インク又は黒のボールペンを使用してください。
3. コピーによるものは、認めません。
4. 複数枚となる場合は、必ずすべての書類の氏名欄に氏名を記入してください。
5. 誤って記入した場合は、二重線で消し、訂正してください。(訂正印は不要)
6. 本文の記入にあたっては、以下の(1)～(3)の事項をふまえて、2,000字以内にまとめてください。
  - (1) 当該コースを志望する理由
  - (2) 入学後、主に学びたいと思うことの内容
  - (3) 当該コースで学んだことを将来どのように活かしたいか

	1	5	10	15	20	25
1						
5						
10						
15						
20						

受験番号	(記入不要)
------	--------

氏名	
----	--

1

5

10

15

20

25

1

5

10

15

20

25

30

見本

受験番号	(記入不要)
------	--------

氏名	
----	--

1

5

10

15

20

25

1  
5  
10  
15  
20  
25  
30

鬼 木

受験番号	(記入不要)
------	--------



(農学部生命環境農学科志願者のみ提出してください)

# 志 願 理 由 書

フリガナ	
氏 名	

受験番号	(記入不要)
------	--------

希望する教育コース (募集方法(A)の①, (A)の②を志願する者のみ記入)	
---	--

1	5	10	15	20	25
1					
5					
10					
15					
20					
25					

氏名	
----	--

受験番号	(記入不要)
------	--------

	1	5	10	15	20	25
1						
5						
10						
15						

(2の2)

記入要領

1. 本人が直筆で記入してください。
2. 記入にあたっては、黒インク又は黒のボールペンを使用してください。
3. コピーによるものは、認めません。
4. 複数枚となる場合は、必ずすべての書類の氏名欄に氏名を記入してください。
5. 本文の記入にあたっては、志望する理由及び入学後の抱負などを1,000字以内にまとめてください。
6. 農学部生命環境農学科は2年次から教育コースに所属します。  
 学校推薦型選抜I募集方法(A)の①, (A)の②で入学した場合は、出願時に希望した教育コースに所属することになります。次の表の4つの教育コースの中から分属を希望する教育コースを選択してください。  
 なお、入学後はコースの変更はできませんので、充分検討のうえ選んでください。
7. 学校推薦型選抜I募集方法(B), (C)及び(D)で入学した場合は、入学時の教育コースは指定できません。2年次より次の表の4つの教育コースのいずれかに分属します。

教育コース	教育の特徴
国際乾燥地農学コース	乾燥地を中心とした海外諸地域の環境問題や農業問題の本質を理解し、それらの地域における環境保全や農業農村開発に貢献できる人材を養成します。
里地里山環境管理学コース	人々の営みが地域の資源・環境に及ぼす影響を自然科学と社会科学の広い視野から理解し、里地里山の持続可能な保全・利用に貢献できる人材を養成します。
植物菌類生産科学コース	新たに開発する生物資源とニホンナシやきのこなどの鳥取県の特産である既存の生物資源を生産し、高度に活用できる人材を養成します。
農芸化学コース	生物資源の有効利用並びに食品の栄養評価・機能性についての体系的な知識と技術を有する人材を養成します。

また、コースの内容については、農学部ホームページを参照してください。  
 農学部ホームページ <http://muses.muses.tottori-u.ac.jp/>

#### (4) 出願にあたっての注意事項

本学の学校推薦型選抜に出願した者は、他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願することができません。

ただし、学校推薦型選抜に不合格となった場合は、前期日程で試験を実施する大学・学部から一つ、後期日程で試験を実施する大学・学部から一つ及び公立大学の中期日程で試験を実施する大学・学部から一つの大学・学部に出願することができます。（出願要件に注意のこと）

（本学の工学部電気情報系学科、社会システム土木系学科及び農学部生命環境農学科の学校推薦型選抜Ⅰに出願し不合格となった場合は、同一学科の学校推薦型選抜Ⅱに出願することができます。）

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/>）参照

#### (5) 入学志願者の個人情報の取り扱いについて

- ① 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報については、入学者選抜に関わる業務（入学試験業務に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のために行う業務などを含む。）及び入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請、課外活動支援等）、授業料等に関する業務に利用することがありますが、法令等に基づき適切に管理します。
- ② 国公立大学の一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校等コード、性別、生年月日及び大学入学共通テストの受験番号に限って、学校推薦型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報が、大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。  
他の目的での利用及び本学関係教職員以外への提供は一切行いません。

## 5. 受験票のダウンロード・印刷

受験票は出願書類を受取後、**令和3年11月12日（金）（予定）からインターネット出願サイトでダウンロードが可能になります**ので、インターネット出願サイトにログインして、ダウンロードの上、印刷してください。なお、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録したメールアドレスへ「受験票ダウンロード通知メール」を送信してお知らせします。（「受験票ダウンロード通知メール」が届かない場合でも受験票の印刷は可能です。）

**受験票は試験当日及び入学手続の際に必要となりますので、大切に保管してください。**

#### 【印刷にあたっての留意事項】

- ① インターネット出願サイトのログインには出願登録時の【受付番号（数字12桁）・生年月日・メールアドレス】が必要です。
- ② 必ず**A4サイズでカラー印刷**してください。
- ③ 印刷後、切り取り線に沿って所定のサイズに切り取ってください。
- ④ 受験票と一緒に「受験票の取扱い」及び「受験上の注意」が印刷されますので、熟読の上、試験当日に受験票と併せて持参してください。

**受験票は郵送しません。必ず各自で印刷して準備してください。**

## 6. 本学が個別に入学資格審査を行う場合の注意事項

出願資格のうち、学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により出願する場合は、出身教育施設での学習内容及び当該教育施設の教育課程について、個別の入学資格審査を行う必要がありますので、事前に申請方法を問い合わせてください。

問い合わせ先 学生部入試課 TEL (0857) 31-5061

入学資格審査申請書提出期間 令和3年9月30日（木）～10月13日（水）17時まで（必着）

## 7. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和3年10月13日（水）までに、入学志願者事前相談書に必要事項を記載し、医師の診断書又は障害者手帳の写しを添えて、学生部入試課へ提出してください。

なお、上記期限後に、不慮の事故等により、配慮が必要となった者は、その時点で速やかに相談してください。

おって、本学が必要と認めた場合、本学で志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

○入学志願者事前相談書

<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/consultation>

○提出先

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地

鳥取大学学生部入試課

TEL (0857) 31-5061

FAX (0857) 31-6778

E-mail [st-nyushiken@ml.adm.tottori-u.ac.jp](mailto:st-nyushiken@ml.adm.tottori-u.ac.jp)

**（注）障がい等の種類や程度によっては対応に時間を要することもありますので、出願する前のできるだけ早い時期に相談してください。**

## 8. 選 抜 方 法

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、選抜方法を変更する場合があります。その場合、ホームページでお知らせしますので最新の情報を必ず確認してください。

入学者の選抜は、**大学入学共通テスト**を課さず、次のとおり行います。

学 部	学 科 等	選 考 要 領
地 域 学 部	地 域 学 科 地 域 創 造 コ ー ス	推薦書，志望理由書（2,000字以内），調査書，小論文及び面接の結果により総合判定します。
工 学 部	機 械 物 理 系 学 科	面接（数学，物理等の基礎学力に関する試問を含む。）及び出願書類により総合判定します。 なお，面接の基礎学力に関する試問の出題範囲は以下をご参照ください。 <a href="http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/wp-content/uploads/2021/05/r4sui1_hani_kikai.pdf">http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/wp-content/uploads/2021/05/r4sui1_hani_kikai.pdf</a>
	電 気 情 報 系 学 科	面接（数学，物理等の基礎学力に関する試問を含む。）及び出願書類により総合判定します。 なお，面接の基礎学力に関する試問の出題範囲は以下をご参照ください。 <a href="http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/wp-content/uploads/2021/05/r4sui1_hani_den.pdf">http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/wp-content/uploads/2021/05/r4sui1_hani_den.pdf</a>
	社 会 シ ス テ ム 土 木 系 学 科	面接（英語，国語，物理，数学等の基礎学力に関する試問を含む。）及び出願書類により総合判定します。 なお，面接の基礎学力に関する試問の出題範囲は以下をご参照ください。 <a href="http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/wp-content/uploads/2021/05/r4sui1_hani_sya.pdf">http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/wp-content/uploads/2021/05/r4sui1_hani_sya.pdf</a>
農 学 部	生 命 環 境 農 学 科	面接（英語等の基礎知識を問う試問も含む。）及び出願書類により総合判定します。

## 9. 試 験 日 時 ・ 試 験 場 等

令和3年11月20日（土）

学 部	学 科 等	試 験 時 間	試 験 科 目 等	試 験 場
地 域 学 部	地 域 学 科 地 域 創 造 コ ー ス	9：30～11：30	小論文	鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学地域学部
		13：00～	面接	
工 学 部	機 械 物 理 系 学 科 電 気 情 報 系 学 科 社 会 シ ス テ ム 土 木 系 学 科	9：30～	面接	鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部
農 学 部	生 命 環 境 農 学 科	9：30～	面接	鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学農学部

（注）試験開始時刻30分前までに指定の場所に集合してください。

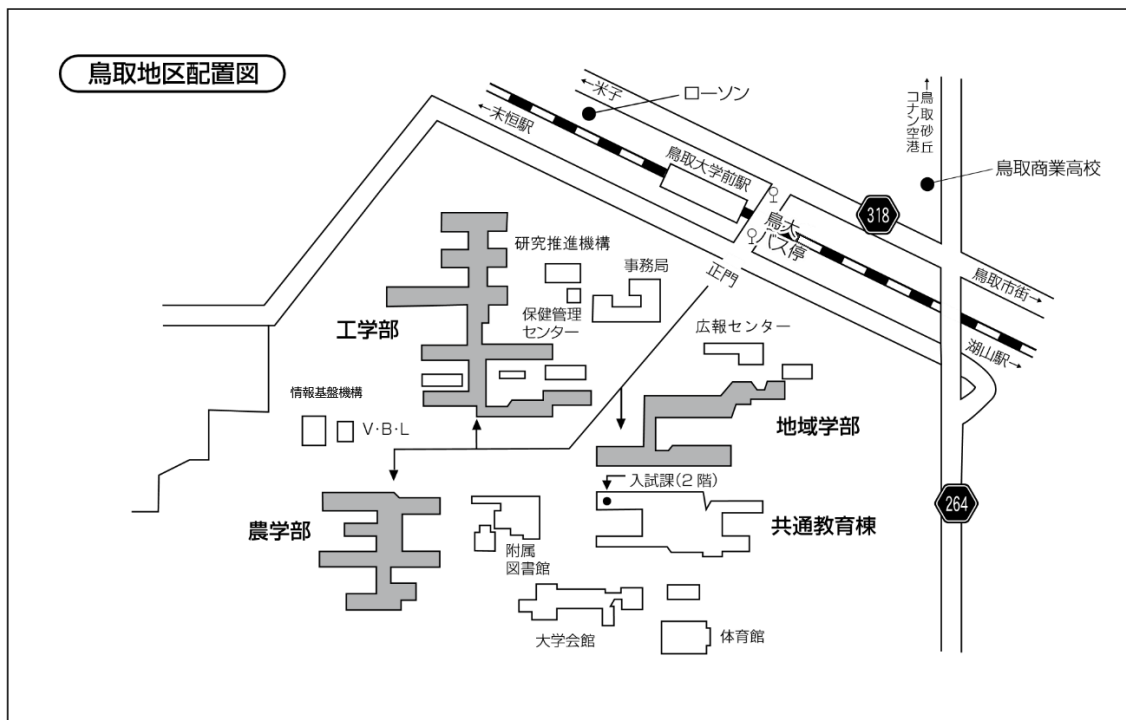
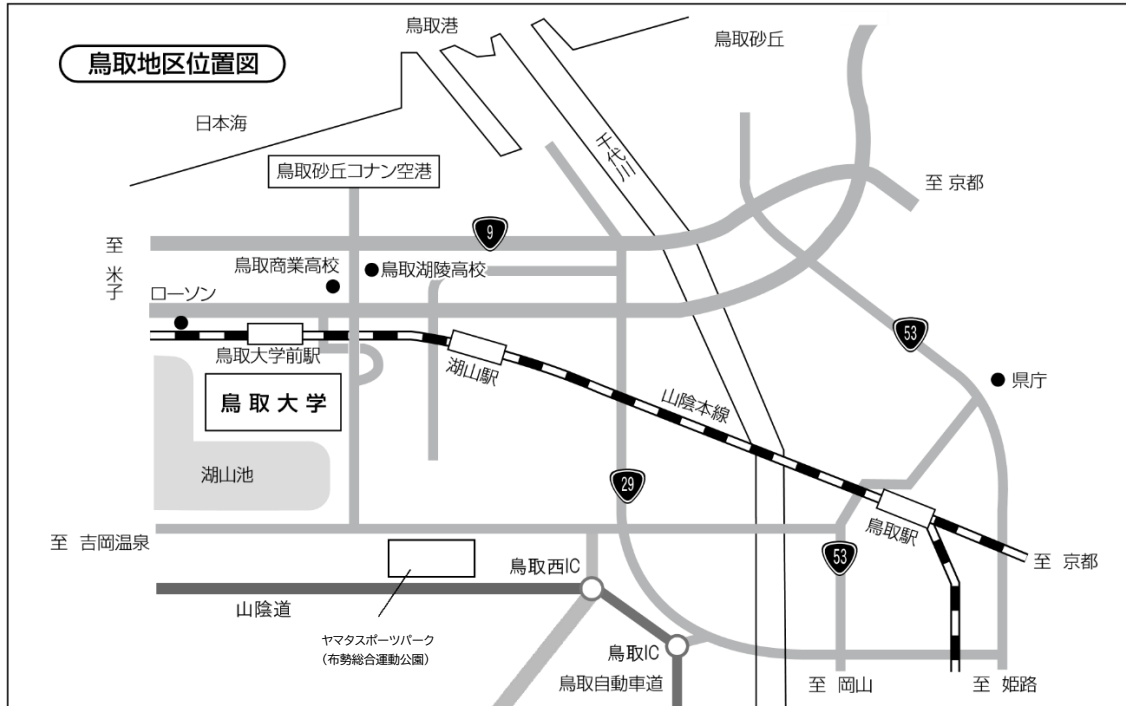
## 10. 受験上の注意事項

- (1) 試験当日は、**本学の受験票を、必ず持参**してください。  
なお、**受験票は入学手続の際にも必要となりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。**
- (2) 試験開始時刻に遅れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。遅刻者の取扱いについては、受験票等交付の際にお知らせしますので、必ず確認してください。
- (3) **試験開始から終了までの間は退室を認めません。**試験中の発病又は用便等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- (4) 机の上には、受験票のほか、黒鉛筆（シャープペンシル可）、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）及び指定された物品以外の携行品を置くことはできません。
- (5) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。
- (6) 試験場の下見では、建物内への立ち入りを禁止します。  
なお、試験室の位置等については、試験前日の15時から、各試験場入口に掲示します。
- (7) **やむを得ず試験を欠席する場合は、必ず事前に学生部入試課又は受験学部に連絡のうえ高等学校等長名により、その旨文書で提出してください。（様式任意）**
- (8) 定められた試験科目等のうち一つでも受験しなかった者は、合格者判定の対象となりません。
- (9) その他学部から別途指示がある場合は、その指示に従ってください。

# 試験場案内

## 鳥取地区（地域学部，工学部，農学部）

- 試験場案内
- ① JR 鳥取大学前駅で下車すぐ
  - ② JR 鳥取駅北口バスターミナルからバスを利用し、「鳥大」下車（所要時間約 30 分）
  - ③ 鳥取砂丘コナン空港からタクシーで約 5 分，徒歩約 30 分
- ※飛行機をご利用の場合は，天候不順による遅延・欠航にご留意願います。



## 11. 合否判定方法

学部	学科等	合否判定方法
地域学部	地域学科 地域創造コース	出願書類、小論文及び面接の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
工学部	機械物理系学科	面接及び出願書類の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
	電気情報系学科	
	社会システム 土木系学科	募集方法(A)、(B)のそれぞれの区分で、面接及び出願書類の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。
農学部	生命環境農学科	面接及び出願書類の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集方法(A)の合否判定方法は、(A)の②を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、(A)の①として選抜の対象となります。</li> <li>・募集方法(C)又は(D)の合否判定方法は、(C)又は(D)を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、それぞれ(A)、(B)として選抜の対象となります。</li> </ul>

## 12. 合格発表 令和3年12月2日(木)

合格者に「合格通知書」を送付するとともに、鳥取大学ホームページ(<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載します。(午前11時頃の予定。掲示による合格者の発表は行わないので注意してください。)

また、合否の結果を高等学校等の長へ文書で通知します。なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

試験当日又は前日に、大学周辺や主要駅前において「合否至急電話連絡」などの勧誘を行う者がいますが、本学とは一切関係ありませんのでご注意ください。



## 13. 入学手続

### (1) 手続期限・場所

合格者は、入学手続書類を**令和3年12月9日(木)17時まで**に**必着**となるように「**簡易書留・速達**」として、送付してください。

来学のうえ手続される場合は、事前に電話連絡のうえ、入学手続書類を揃え、令和3年12月9日(木)17時まで、次の「入学手続場所」で手続を行ってください。(受付時間：平日9時～17時)

○送付先・入学手続場所

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学学生部入試課

入学手続の詳細については、合格者に別途お知らせします。

### (2) 入学手続時に提出するもの

- ① 令和4年度鳥取大学学校推薦型選抜I受験票(入学手続完了後、返却します。)
- ② 入学料振込済証明書
- ③ 学生証用写真台紙(本学所定の様式(写真添付※))  
※縦4cm×横3cm。正面・無帽・肩口まで・無背景で、提出前3か月以内に撮影したもの。
- ④ 卒業証明書(「卒業見込」で受験した者は、卒業式後に学生部入試課に提出してください。「卒業」で受験した者は、提出の必要はありません。)
- ⑤ 上記以外の本学所定のもの

### (3) 入学料等

#### ① 入学料 282,000円(予定額)

- ・合格者には所定の振込用紙を送付しますので、入学手続期限までにお振り込みください。
- ・振込方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。
- ・入学手続は入学料を納入し、かつ手続期限までに(2)の入学手続書類を提出しなければ完了となりません。なお、納入された入学料は、返還できません。

#### ② 授業料 年額 535,800円〔前期分267,900円 後期分267,900円〕(予定額)

- ・納入期限は、前期は5月末日、後期は11月末日です。
- ・本学では授業料の納入を、口座振替方式としています。
- ・口座振替手続等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

(注) 上記の入学料、授業料は予定額です。入学時及び在学中に改定があった場合は、改定後の入学料、授業料を納入していただくこととなりますのであらかじめご了承ください。

### (4) 留意事項

- ① 学校推薦型選抜合格者の入学辞退は、原則として認められません。  
ただし、特別の事情があり入学を辞退する場合は、令和4年2月21日(月)までに推薦学校等の長を経由して「入学辞退願」(様式任意)を提出し、その許可を得なければなりません。
- ② 学校推薦型選抜合格者は、他の国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)を受験しても合格者となりません。  
ただし、本学へ「入学辞退願」を提出し、許可された者は除きます。  
※公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/>)参照
- ③ 合格者が所定の期日までに入学手続を行わなかった場合は、合格者としての権利を失います。この場合、いずれの国公立大学の個別学力検査等を受験しても入学許可を得られません。  
ただし、本学へ「入学辞退願」を提出し、許可された者は除きます。

## 14. 入学前教育

学校推薦型選抜 I 合格者は、合格が決まってから入学まで、4 か月もの長い時間があります。その時間を有効に使い、大学生生活のスタートを応援するために入学前教育を実施します。在籍する学校長のご理解をいただいた上で、高等学校教育への影響を配慮しながら、「Web 研修」、入学センター及び合格した学部・学科が e ラーニングやレポート等の提出など、生活面、学習面のサポートをします。詳細は、合格通知書とともに案内します。

**Web 研修日 (予定) : 12 月 11 日 (土)**

## 15. 学生生活案内

### (1) 学寮, 民間アパート等

学寮の詳細については、学生部学生生活課学生支援係 (TEL (0857) 31-5058) へ、民間アパート等については、鳥取大学生生活協同組合 (TEL (0857) 28-1100) 等へお問い合わせください。

※鳥取大学ホームページ参照

鳥取大学ホームページ>キャンパスライフ>学生生活サポート>学寮, アパート・マンション

### (2) 入学料・授業料の減免

国の修学支援制度 (令和 2 年 4 月から開始) により住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生について、日本学生支援機構による給付奨学金と併せて入学料・授業料の減免を行います。

詳細については、学生部学生生活課奨学係 (TEL (0857) 31-5059・6776) へお問い合わせください。

### (3) 国の教育ローン, 提携教育ローン

#### ① 国の教育ローン (日本政策金融公庫)

本学に入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

学生 1 人につき 350 万円以内を固定金利で利用でき、在学期間内は利息のみの返済とすることができます。

詳細については、日本政策金融公庫教育ローンコールセンター (0570-008656 (ナビダイヤル)) へお問い合わせください。

#### ② 提携教育ローン (オリエントコーポレーション)

入学料・授業料を対象にした (株) オリエントコーポレーション (オリコ) との提携教育ローンです。オリコが保護者に代わって大学に一括納入し、毎月の返済については複数の返済プランの中から選ぶことができます。

詳細については、オリコ学費サポートデスク (0120-517-325) へお問い合わせください。

### (4) 奨学金制度

人物・学業ともに優秀かつ、経済的理由により修学が困難と認められる者には、本人の申請に基づき選考の上、奨学金が貸与される制度があります。

#### ① 日本学生支援機構奨学金

奨学金の種類	貸与月額(令和 3 年度)	貸与期間	備考
第一種奨学金	20,000 円, 30,000 円, 45,000 円(自宅通学), 40,000 円, 51,000 円(自宅外通学)	最短修業年限まで	無利息
第二種奨学金	20,000 円~120,000 円 (1 万円単位) から選択可	最短修業年限まで	利息付 (利率は年 3.0% が上限)

② その他の奨学金

日本学生支援機構奨学金のほか、都道府県や市町村の奨学金、民間の各種育英団体による奨学金があり、大学の推薦によるものとそれぞれの公募により直接申し込みするものがあります。

詳細については、学生部学生生活課奨学係（TEL（0857）31-5059・6776）へお問い合わせください。

**(5) 学生教育研究災害傷害保険**

この保険制度は、正課、学校行事、課外活動、通学中並びに学校施設内での傷害事故（ケガなど）が起きた場合の補償制度で、本学では、全員加入としています。

※農学部は、学研災付帯賠償責任保険も、全員加入です。

詳細については、保健管理センター（TEL（0857）31-5065）へお問い合わせください。

## 16. そ の 他

- (1) 受験に関する照会は、学生部入試課あてにメールによって行ってください。

学生部入試課 E-mail [st-nyushiken@ml.adm.tottori-u.ac.jp](mailto:st-nyushiken@ml.adm.tottori-u.ac.jp)

- (2) 入試情報の開示について

学校推薦型選抜 I については、受験者の個人成績及び合格者の成績等（満点、最高点、最低点、平均点）の開示はしません。

## ノート型パソコンの必携について

### ○ノート型パソコン必携のお願い

情報化が急速な進化を遂げている現代社会において、専門分野の知識のみならず、高度な情報処理能力や、情報セキュリティ能力の備わった優秀な人材を育成することが不可欠であるため、新入生全員にノート型パソコンを必携していただいています。

ノート型パソコンは、情報教育や英語教育、専門科目等の授業において使用するほか、講義レポートの作成や提出、修学上必要となる履修登録や自己の成績確認、授業料免除申請及び奨学金貸与の申込みなど、様々な用途で幅広く活用することになります。

つきましては、ご入学に際して保護者の方々の経済的な負担は相当なものと思いますが、本学における教育方針等をご理解いただき、ノート型パソコンをご準備いただきますようお願いいたします。

※ご準備いただくパソコンの性能等の情報は2月下旬にお知らせする予定です。

### ○経済的事情によりノート型パソコンの準備が困難な方へ

本学では、経済的事情によりノート型パソコンを準備することが困難な方に対する措置として、大学所有のノート型パソコンを授業時間等に限り貸し出します。

※詳細は、2月下旬にお知らせする予定です。

### ※ ノート型パソコン必携に関する問い合わせ先

学生部教育支援課教務支援係 (TEL (0857) 31-6774)

## 入学に必要な学部別納入経費（予定）

入学にあたっては入学料・授業料のほか、以下の経費が必要となりますのでご確認ください。

なお、納入方法等については別途お知らせします。

学 部	事 項	金 額
地 域 学 部 合計 62,750 円	T O E I C 受 験 料	3回分 9,450 円
	学生教育研究災害傷害保険料	4年分 3,300 円
	助 成 会 費	4年分 16,000 円
	同 窓 会 入 会 金	5,000 円
	同 窓 会 費	終身会員 15,000 円
	学 生 活 動 支 援 会 費	4年分 4,000 円
	体 育 会 会 費	入会金 10,000 円
工 学 部 合計 47,750 円	T O E I C 受 験 料	3回分 9,450 円
	学生教育研究災害傷害保険料	4年分 3,300 円
	後 援 会 費	4年分 16,000 円
	同 窓 会 入 会 金	5,000 円
	学 生 活 動 支 援 会 費	4年分 4,000 円
	体 育 会 会 費	入会金 10,000 円
農 学 部 合計 94,110 円	T O E I C 受 験 料	3回分 9,450 円
	学生教育研究災害傷害保険料	4年分 3,300 円
	学研災付帯賠償責任保険料	4年分 1,360 円
	後 援 会 費	4年分 16,000 円
	同 窓 会 入 会 金	5,000 円
	同 窓 会 費	終身会費 45,000 円
	学 生 活 動 支 援 会 費	4年分 4,000 円
	体 育 会 会 費	入会金 10,000 円

## 問合せ先

事項		問合せ先	
募集要項・出願手続		学生部入試課	TEL (0857) 31-5061
入学後の生活支援	学寮など (P. 30)	学生部学生生活課 学生支援係	TEL (0857) 31-5058
	入学料・授業料免除, 奨学金など (P. 30~31)	学生部学生生活課 奨学係	TEL (0857) 31-5059 又は 6776
入学後の教育支援	ノート型パソコン必携 (P. 32)	学生部教育支援課 教務支援係	TEL (0857) 31-6774
その他志望する学部 の受験に関する 問合せ	地域学部	地域学部教務係	TEL (0857) 31-5077
	工学部	工学部教務係	TEL (0857) 31-5186
	農学部	農学部教務係	TEL (0857) 31-5342

### 鳥取大学学生部入試課

〒680-8550 鳥取市湖山町<sup>こやまちょう</sup>南4丁目101番地

TEL (0857) 31-5061

FAX (0857) 31-6778

E-mail st-nyushiken@ml.adm.tottori-u.ac.jp

鳥取大学入学試験情報ホームページ

<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>

スマホ・携帯電話サイト

<https://daigakujc.jp/toridai/>



(スマホ・携帯電話サイト)